

令和元年5月8日

関 係 各 位

第41回 ハンセン病医学夏期大学講座

実行委員長 宮崎 義継

(国立感染症研究所ハンセン病研究センター長)

「ハンセン病医学夏期大学講座」開催のご案内

謹啓 薫風の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ハンセン病は、国内での新規患者激減にもかかわらず、世界的には現在でも約21万人(2017年)の新たな患者の発生がみられます。

平成13年5月25日には、ハンセン病国家賠償訴訟の判決をうけ、小泉総理大臣(当時)は、「ハンセン病患者に対する施設入所施策や一般社会において極めて厳しい偏見、差別が存在してきた事実を深刻に受け止め、ハンセン病問題の解決に向けて全力を尽くす決意」を談話の中で表明しました。

また、平成21年4月1日には、ハンセン病患者であった方等の福祉の増進、名誉の回復等のための措置を講ずるため、「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」が施行されました。

このようにわが国では、ハンセン病問題は医療上だけでなく、社会的な問題も含んでおり、それらを解決していくためには政府のみならず、国民一人一人が、ハンセン病に関する理解や認識を深めていくことが重要と考えます。

「ハンセン病医学夏期大学講座」は、医学、歯学、薬学、看護学及び医療福祉、医療技術を学ぶ学生や医療関係者の皆様方を対象に、ハンセン病に関する最新の知識や国際協力の現状・将来展望などをお伝えすることを目的として、毎年度、開催しております。

第41回目となる令和元年度においては別添の案内書のとおり開催することといたしましたので、本資料を貴機関の学生はじめ、医師、看護師その他の医療関係者の皆様方にご周知にいただければ幸いです。

敬 具

第41回ハンセン病医学夏期大学講座のご案内

実行委員長 宮崎 義継

(国立感染症研究所ハンセン病研究センター長)

ハンセン病はらい菌による慢性感染症であり、発症には感染者の免疫状態の関与も考えられておりますが、わが国の新規発症患者数は医学、公衆衛生等の進歩により大幅に減少しました。

一方、世界保健機関（WHO）によると、2017年の年間新規患者数は約21万人であり、ハンセン病制圧にはまだまだほど遠い現状があります。そのため、研究を進める力を持っているわが国の積極的な国際的協力も求められており、ハンセン病研究センターではこうした活動にも前向きに取り組んでいるところです。

ハンセン病の診療は、平成8年のらい予防法廃止以前は国立及び私立のハンセン病療養所で行われておりましたが、現在は一般医療機関において診断・治療が実施されることが多くなりました。ハンセン病は早期発見、早期治療が行われると、後遺症を残さずに治癒する疾患であり、末梢神経障害をはじめとする後遺症の発症をくいとめることが可能なので、早期発見、早期治療のための基礎医学や臨床医学の充実が求められています。

そこで医療関係者及び医療系学生を対象に、ハンセン病の診断・治療につながる知識を学んでいただくため、「第41回ハンセン病医学夏期大学講座」（別添「日程表」参照）を開催いたします。

ハンセン病に対する理解を一層深めて頂くために、本講座へのご参加をお待ちいたしております。

記

1. 主催 公益財団法人 日本財団、ハンセン病医学夏期大学講座実行委員会
2. 期間 令和元年 8月 5日(月)～ 8月 9日(金)
3. 受講対象者 医学・歯学・薬学・看護・医療福祉・医療技術を学ぶ学生
医師、歯科医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、その他の医療関係者
4. 受講コース 総合コース【15名程度】
ハンセン病・国際協力の講義、基礎医学講義・実習、外来診療見学、
多磨全生園入所者との交流会、多磨全生園見学、ハンセン病資料館見学
看護・福祉コース【12名程度】
ハンセン病・国際協力の講義、病棟又は不自由者棟での実習、
多磨全生園入所者との交流会、多磨全生園見学、ハンセン病資料館見学
国際医療コース【20名程度】
ハンセン病・国際協力の講義、多磨全生園入所者との交流会、多磨全生園見学、
ハンセン病資料館見学
※国際医療コースは、8/5(月)～8/7(水)の3日間
5. 場所 国立療養所多磨全生園、国立ハンセン病資料館及び国立感染症研究所ハンセン病研究センター（東京都東村山市青葉町）
※最寄駅 西武池袋線清瀬駅、西武新宿線久米川駅、JR武蔵野線新秋津駅
6. 経費 受講料：無料 ※宿泊施設有（若干）：寝具代のみ自己負担
7. 申込期限 令和元年 6月21日(金)
※ただし、申込みが定員を超えた場合には、お断りする場合があります。
8. 申込要領 別紙申込書に所要事項を記入し、下記の申込先へ送付してください。
(申込後受講を取り止める場合は、速やかにご連絡ください。)

照会・申込先

国立感染症研究所ハンセン病研究センター庶務課

〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-2-1

Tel 042-391-8211・Fax 042-394-9092

e-mail:kakidai@nih.go.jp

URL: <https://www.niid.go.jp/niid/ja/open/2127-hansen-college/8009-hansen-s41.html>

第41回ハンセン病医学夏期大学講座参加申込書

下記の表に必要事項を記入して、FAX・Eメール・郵送のいずれかにてお申し込み下さい。

住所	〒	TEL			
		携帯			
	e-mail	FAX			
ふりがな 氏名		性別	男・女	年齢	歳
所属大学(学部)・医療 関係機関等の名称		学年又は 職名			

希望コース

1. 下記のコースについて、受講を希望するコースに○印を記入して下さい。
2. 総合コース、看護・福祉コースは火曜日までの講義を受講後、水曜日の午前から、それぞれのコースに分かれて実習、講義等を行います。(日程表参照)
3. 国際医療コースは、水曜日までの受講となります。
4. 都合によりご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。

希望(○印記入)	コース名	内 容 (予 定)
	総合コース	ハンセン病・国際協力の講義、基礎医学講義・実習、外来診療見学、多磨全生園入所者との交流会、多磨全生園見学、ハンセン病資料館見学
	看護・福祉コース	ハンセン病・国際協力の講義、病棟又は不自由者棟での実習、多磨全生園入所者との交流会、多磨全生園見学、ハンセン病資料館見学
	国際医療コース	ハンセン病・国際協力の講義、多磨全生園入所者との交流会、多磨全生園見学、ハンセン病資料館見学

宿泊希望について

1. 若干の宿泊施設が全生園内研修棟にあります。宿泊を希望される方は、下記の「宿泊希望」に○印を付すとともに宿泊希望日に○を付して下さい。(宿泊施設は相部屋で、食事及び石けん・シャンプー等は有りません。)
2. 宿泊施設は、人数が限られているため遠方の方を優先しますので、場合によってはお断りする場合があります。なお、遠方の受講者は前日の 8/4 (日)も宿泊が可能です。
3. 宿泊費用は、寝具代として1日1,200円(税込)です。
4. 宿泊施設の設備(風呂、トイレ、食事スペース(冷蔵庫有り)、ポット、電子レンジ等)は、共用となっています。インターネット回線はありません。

【 】宿泊希望 (宿泊希望日 8/4、8/5、8/6、8/7、8/8)

〔 申込先 〕

国立感染症研究所ハンセン病研究センター 庶務課

〒189-0002東京都東村山市青葉町4-2-1

TEL 042-391-8211 FAX 042-394-9092

e-mail:kakidai@nih.go.jp

----- 下記の欄には記入しないで下さい -----

受付担当者	受付年月日	確 認	登録番号	そ の 他

